

実感

理解

実践

買い物ゲーム

～環境に良い買い物って？ 消費者としてどんなこと？～



講義

見学

体験

ごみを減らすための自由な発想と知恵を引き出しながら、それを暮らしの中で実践するきっかけとなるワークショップ型環境学習プログラムです。トレーは？レジ袋は？ラップは塩化ビニール系？知らなかったことがたくさん！

	1	2	3	4	5	6
おつり	315	340	315	315	315	445
ごみの数	6	4	3	3	3	11
ごみの量	58	33	83	83	23	283
のこり	257	307	232	232	292	192



ねらい



その他

ゴミの減量に興味を持ち、毎日の暮らしや買い物との関わりを考える

場所

教室・多目的室
(広め)

季節

通年

人数

クラス単位

所要時間

60～90分
(約2校時分)

対象

小4～小6

申込期限

随時

連絡先

帯広市 都市環境部 環境室 環境課 環境保全係
電話:0155-65-4135 FAX:0155-23-0159
E-mail:environment@city.obihiro.hokkaido.jp

実感

理解

実践

関連単元
【例】

学年	科目・領域等	内容
小学校<中学年>	社会	—
小学校<高学年>	家庭	○消費と環境

導入

模擬スーパーをオープンし、本物そっくりな肉や野菜が、トレーやラップなどさまざまな容器で包装して並べてあります。カレーを作ることを想定し、グループごとに決められた予算、レシピ通りにカレーの材料と飲み物を買う。(ゴミを意識しないで買う)

展開

おつりが多いチームが勝ちとなりますが、実はトレーやラップ等のごみを処理するお金がかかることで順序が入れ替わります。

買ったものから出るゴミの処理費を計算し、処理費にお金がかかっていることやごみの多さを学ぶ。次にゴミを減らすための作戦タイムをし、もう一度買い物ゲームにチャレンジします。

まとめ

これからはゴミを減らすような買い物が大切なことや、今まで関心を持てなかったこと、見えなかったことに児童自ら考えられるよう促します。



先生方のコメント

- 買い直しによって、学んだことがきちんと理解されているかを確認できて良かった。
- 活動→思考→発表→再活動の授業の組み立てがテンポ良く素晴らしかった。
- 環境について具体的に何をどう実践するのかを考える良い機会となった。

持ち物

- 筆記用具

特記事項

- ホワイトボード(可能なら2つ)、商品を並べる机、児童の机とイス。
- 事前に児童のグループ分けと、班ごとに座れるような配置。
- 45分(1校時)で行いたい場合はご相談ください。

このプログラムを活用した方へのオススメ!プログラム

- 【理解・実践】12 ごみとリサイクル(清掃事業課)